

レースにあたっての審判上の諸注意

今大会は、日本ローイング協会競漕規則（2023年4月施行）、大会要項（当日の申し合わせ含む）、ならびに以下の諸注意に基づいてレースを運営します。よく理解してレースに臨んでください。

1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加してください。体調不良によるレースへの出漕は絶対に避けてください。万一、乗艇中に体調不良となった場合は無理せず、必ず最寄りの審判員またはその他の役員に申し出てください。

2. 事故防止と安全確保、航行ルールの遵守について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全最優先で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に行ってください。
- ② レース前の練習については、審判員等の目が行き届かない場合があるので、練習中においても航行ルールを守り、周囲の安全を十分確認して行ってください。また、危険水域への立入や規定の棧橋以外には行かないこと。気象の変化や風・波等にも注意し、大会本部等から指示がある場合は、これに従ってください。
- ③ レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。
- ④ コース沿いを回漕中および練習中のクルーは、レース艇が近づいた場合、レースの100m手前から最終クルーが通過するまでの間、その場に停止してください。違反した場合はイエローカードを与えます。
- ⑤ 航行ルールについては、別添の「久々子湖航行ルール（練習時、レース時）」を十分確認してください。
- ⑥ 落水時の安全を確保するため、フットストレッチャー（ストレッチャー、シューズなど漕手の足を保持するすべての装置）は、漕手が緊急時において速やかにボートから離脱することができる形式（クイックリリースフットストレッチャー※）とします。

※「クイックリリースフットストレッチャー」とは以下のものをいう。

- a. 足を保持するフットストレッチャーが艇に残る場合は、足が容易に開放されるようシューズのかかとが水平位置に上がらないよう、ヒールロープにより両足それぞれ独立して固定すること。さらに、漕手がシューズから足を外す際に、靴紐（くつひも）、マジックテープ、または同様の素材を開ける必要がある場合は、漕手が片手で引く簡単な一動作で、すぐに足が解放できる構造であること。
- b. フットストレッチャーが艇に残らない場合は、漕手が手を使わずに容易に両足が解放される構造、または手が届きやすい紐や解除装置の片手による簡単な一操作で、すぐに両足が解放できる構造であること。

3. 各種手続き（届け出）について

- ① 棄権・メンバー変更・ブレード変更(不統一)の届出や願いの手続きは、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順で行ってください。
- ② シート変更(漕手間の変更)については、事前に届け出る必要はありません。

4. 監視と舵手計量について

- ① 今大会では全員揃っての監視は行いませんが、舵手計量は出漕日ごとに各自の最初のレースの2時間前から1時間前までに、レースに出漕する服装で計量を受けてください。
- ② 規定の時間内に計量を行わないと失格となりますので時間を厳守してください。
- ③ 舵手計量は、B&G艇庫1階で行います。
- ④ デッドウエイトの携行を命ぜられたクルーが携行せずにレースに出漕すればレッドカードで除外となります。

5. ユニフォームおよび服装について（県民スポーツ祭では、以下①②は除く）

- ① クルーは出漕に際し、統一されたユニフォームを着用すること。
また、ユニフォームの他に着用する帽子・鉢巻、アンダーシャツ、アンダーレギンス、靴下などは統一されていないといけない。
柄が相違しているものや色褪せにより外見が異なるものは、統一されているものとは認められない。
- ② 帽子・ハチマキについては、クルー内で着用する者としめない者がいても良い。ただし、着用する場合は漕手・舵手とも同じものを用いること。
- ③ 以下のパーソナルアイテム（装着品）は統一されている必要はない。
眼鏡・サングラス、ネックレスなどのアクセサリ類、腕時計、指輪、手袋、サポーター、リストバンド、包帯など。

6. コースへの進入について

前のレースがスタートし、200mを通過すると、発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。（それまでは待機水域で待機）

7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置(ステイクボート)に着いてください。特段の事情がない限り、遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で到着が間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。許可なく遅れレースに参加できなかったクルーはDNS (Did not start) となり以後の全ラウンドに出漕できません。
- ② 発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備をし、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。
- ③ 発艇号令は、次の手順で行う。

通常のスタート : 「ロールコール」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す
 クイックスタート : (ロールコールなし) → 「オールクルーズ」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す

8. レース中の留意事項について

- ① レース中に艇の故障およびオールの破損等が生じて、特別な救済措置はありません。またこれに関する異議も認めません。故障や不具合が生じないように、事前に十分点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進行し、他のレーンへの侵害や、他艇の妨害をしてはなりません。レース中、主審は、障害物の出現や、他レーンに侵入して他艇と接触・衝突の危険が切迫しているクルーに対し、レース状況によっては白旗を掲げ「〇〇止まれ！」のコールをし、当該クルーのみに停止を求めることがあります。この場合、主審の指示に従ってください。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、容赦してください。

9. レース中の落水について

レース中に落水(転覆)し、自力で速やかに乗艇(回復)し、フィニッシュラインを通過すれば着順を認めます。ただし、自力での乗艇に手間取り、次のレースに支障をきたす時、または安全上問題があると審判員が判断した時には救助します。この場合、DNF (Did not finish) となり、以後のレースには出漕できません。

10. 指導・警告・除外とその取り扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告(注意・イエローカード・レッドカード)が与えられます。同一ラウンド内でイエローカードを2回与えられるとレッドカード(除外)となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判より該当色のカードが提示されます。
- ② 大会期間中、航行ルールを守らなかった場合、指導やイエローカードが与えられます。また、あらかじめ定められていない事でも、審判が警告対象と判断した場合、イエローカードを与えることがあります。
- ③ クルーが受けたイエローカードは、レースが成立した時点で解消しますが、レース成立後の回漕中に受けたイエローカードは、次のレースがある場合にはそこへ持ち越されるものとします。
- ④ 予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを与えられ除外となったクルーは敗者復活戦への出場を認めず。この場合、他のクルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了させます。なお、この際に真面目な態度および正常な競漕速度で漕了しない場合、また、接触・妨害を起こした場合は失格とします。

11. レース終了後について

- ① フィニッシュラインを通過したクルーは、全クルーが漕了し主審が旗を掲げるまでフィニッシュ付近で待機しておいてください。
 なお、主審は状況により、フィニッシュラインの手前の位置で旗を掲げる場合もあります。
- ② レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出てください。
 主審から白旗が揚がった場合はレース成立ですが、赤旗が揚がった場合はレースに何らかの問題があったことを示していますので、その場にとどまり主審の指示を待ってください。

12. その他

- ① 各クルーはバウナンバープレートを必ず艇首に取り付け、テープ等で固定すること。発艇前にバウナンバープレートを取付けていないクルーは、最寄りの審判員に申し出ること。
- ② 当コースでの自転車等の乗り物による伴走は禁止です。伴走で注意を受けた場合、競漕委員会は当該団体に対し、適切な処置を行うことがある。（除外の対象）